

フェヌグreek

FENUGREEK

中近東、アフリカ、インドなどで栽培され、フェネグreek、コロハ、メティなどとも呼ばれるマメ科の1年草。種子にはスパイシーな独特の芳香があり、カレーなどの香味付けに用いられるほか、漢方では滋養強壮・健胃などに良いとされている。種子にはサポニンや、食物繊維の一種ガラクトマンナンを含むことが特徴。サビンサジャパンでは「**フェヌステロール**」、「**フェヌマンナン**」という2種類の植物抽出物を展開。

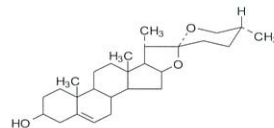


フェヌグreek種子

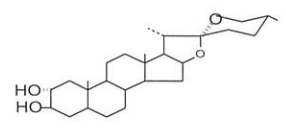
フェヌステロール (運動機能サポート素材)

フェヌステロールは、フェネグreekの種子からサポニンに富む画分を抽出した素材です。フェネグreek種子はフロスタノール型のサポニン(ステロイドサポニン)を含み、**テストステロンレベルを向上させ**、筋肉量の増加、筋肉強度の増大に寄与することが報告されている成分です。フェヌステロールはパフォーマンスの改善など運動機能をサポートする有用な製品として展開中。

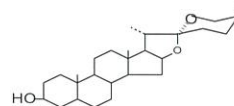
フェネグreekに含まれるサポゲニン



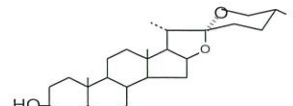
ジオスゲニン



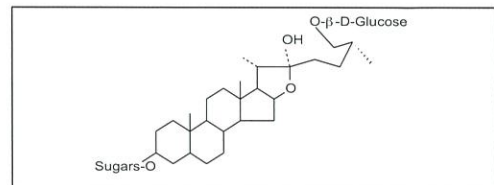
ギトゲニン



サルササポゲニン



スミラゲニン



フロスタノール型サポニン

- 【起源原料】 フェネグreek種子
- 【規格成分】 ステロイドサポニン 50%
- 【性状】 黄色の粉末、特有臭・吸湿性あり



SABINSA JAPAN CORPORATION



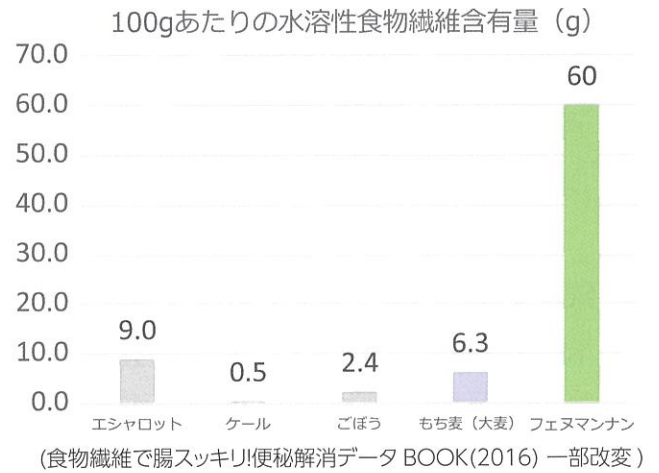
フェヌマンナン (血糖値・脂質サポート素材)

ガラクトマンナンとは、保水性に優れた水溶性食物繊維の一種（多糖類）です。鎖状に繋がったマンノースに、ガラクトースが結合しており、**水に溶かすと粘り気をもつ**ため、増粘剤などにも利用されます。

【起源原料】 フェヌグreek種子

【規格成分】 ガラクトマンナン60%

【性状】 オフホワイト～淡黄色の粉末 特有臭あり



期待できる効果

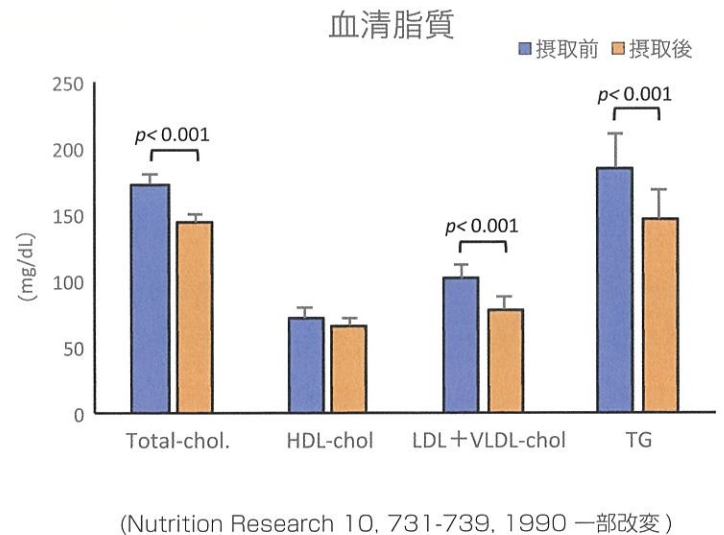
- 胃の中で粘性の高いゲルを形成し消化を遅らせるため、グルコースの吸収が緩やかになり、食後の**血糖値の急激な上昇の抑制**が期待されます。
- 善玉菌のエサになることで増殖を促し、**腸内環境の改善**が期待できます。

【臨床試験】

15名のインスリン非依存性糖尿病患者(32-60歳 男性10名 女性5名)に10日間フェヌグreek種子(100g)を昼食と夕食の2回に分けて摂取させ、摂取前後での血清脂質濃度を測定。

結果：

フェヌグreek種子を10日間摂取することにより、総コレステロール、LDL+VLDL コレステロール、トリグリセリド濃度が有意に低下($p < 0.001$)。しかしHDL-コレステロール濃度の変化はなし。



サビンサではフェヌグreekの他、インド伝統のスパイス抽出物を各種取り揃えております。

ショウガ抽出物

- ◆ジンジャードライ (ジンゲロール 5%)
- ◆ジンジャーソフト SCFE (ジンゲロール 20% または 35%)

黒胡椒抽出物

- ◆バイオペリン® (ピペリン 95%)

秋ウコン抽出物

- ◆クルクミン C3 コンプレックス® (クルクミノイド 95%)
- ◆クルクミノイド 90% (クルクミノイド 90%)
- ◆ホワイトクルクミノイド (テトラヒドロクルクミノイド 95%)



サビンサジャパンコーポレーション

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-32-12 第4 タクトビル 6階 TEL: 03-5979-7240 FAX: 03-5979-7241
Website: www.sabinsa.co.jp Email: info@sabinsa.co.jp

